

レジメンスケジュール

診療科	血液内科	申請・改訂日	2022年8月	ケール関連	使用した臨床データ
病名	再発・寛解多発性骨髄腫	備考	デキサメタゾン：ダラツズマブ投与1～3時間前、カルフィルゾミブ投与30分～4時間前、点薬も可。 レジメン		適正使用ガイド
レジメン	血内MM DK4皮下注射法				

1ケール目(28日/ケール)																					
投与種	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day2	day3	...	day8	day9	...	day15	day16	...	day22	...	day28		
①	○	デキサメタゾン	20mg/body	内服	内服, day1,2は点薬必須	デキサメタゾン：ダラツズマブ投与1～3時間前、カルフィルゾミブ投与30分～4時間前、点薬も可。	点薬16.5mg(N630)	点薬16.5mg				○	○	...	○	○	...	○	...	40mg	
①		ジフェントドラミン	25-50mg	内服																	
①		アゼチアモリフェン	650-1000mg	内服																	
②	○	5%ブドウ糖液	50mL	メイン	30分	ダラツズマブと前投薬の間隔調整	○														
③	○	ダラツズマブ(皮下製剤)	15mL/body	皮下注射	3～5分	投与後30分は経過観察	○														
④		5%ブドウ糖液	250mL	メイン	30分	カルフィルゾミブ/ハイドレーション用、ダラツズマブ投与時は経過観察も兼ねる	○	○(DEXと)				○	○				○	○			
⑤	○	カルフィルゾミブ 注射用水 ※※ 5%ブドウ糖液	20mg/m2 ※※ ※※100mL	メイン	30分	※※total100mL ※※10mg/バイアルは注射用水5mLで、40mg/バイアルは注射用水20mLで溶解すること。ブドウ糖液より必要量抜き、total100mLにする	○	○				56mg/m2	56mg/m2				56mg/m2	56mg/m2			
⑥		5%ブドウ糖液	50mL	メイン	全期	カルフィルゾミブ投与後フラッシュ用	○	○				○	○				○	○			
⑦		メチルプレドニゾロン	20mg		点滴/内服							○									

終了

2ケール目(28日/ケール)																					
投与種	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day2	...	day8	day9	...	day15	day16	...	day22	...	day28			
①	○	デキサメタゾン	20mg/body	内服	内服	デキサメタゾン：ダラツズマブ投与1～3時間前、カルフィルゾミブ投与30分～4時間前、点薬も可。	○	○					○	○	...	○	...	40mg			
①		ジフェントドラミン	25-50mg	内服																	
①		アゼチアモリフェン	650-1000mg	内服																	
②	○	ダラツズマブ(皮下製剤)	15mL/body	皮下注射	3～5分	投与後30分は経過観察	○														
③		5%ブドウ糖液	250mL	メイン	30分	カルフィルゾミブ/ハイドレーション用、ダラツズマブ投与時は経過観察も兼ねる	○	○					○	○							
④	○	カルフィルゾミブ 注射用水 ※※ 5%ブドウ糖液	56mg/m2 ※※ ※※100mL	メイン	30分	※※total100mL ※※10mg/バイアルは注射用水5mLで、40mg/バイアルは注射用水20mLで溶解すること。ブドウ糖液より必要量抜き、total100mLにする	○	○					○	○				○	○		
⑤		5%ブドウ糖液	50mL	メイン	全期	カルフィルゾミブ投与後フラッシュ用	○	○					○	○				○	○		

終了

3～8ケール目(28日/ケール)																					
投与種	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day2	...	day8	day9	...	day15	day16	...	day22	...	day28			
①	○	デキサメタゾン	20mg/body	内服	内服	デキサメタゾン：ダラツズマブ投与1～3時間前、カルフィルゾミブ投与30分～4時間前、点薬も可。	○	○					○	○	...	○	...	40mg			
①		ジフェントドラミン	25-50mg	内服																	
①		アゼチアモリフェン	650-1000mg	内服																	
②	○	ダラツズマブ(皮下製剤)	15mL/body	皮下注射	3～5分	投与後30分は経過観察	○														
③		5%ブドウ糖液	250mL	メイン	30分	カルフィルゾミブ/ハイドレーション用、ダラツズマブ投与時は経過観察も兼ねる	○	○					○	○							
④	○	カルフィルゾミブ 注射用水 ※※ 5%ブドウ糖液	56mg/m2 ※※ ※※100mL	メイン	30分	※※total100mL ※※10mg/バイアルは注射用水5mLで、40mg/バイアルは注射用水20mLで溶解すること。ブドウ糖液より必要量抜き、total100mLにする	○	○					○	○				○	○		
⑤		5%ブドウ糖液	50mL	メイン	全期	カルフィルゾミブ投与後フラッシュ用	○	○					○	○				○	○		

終了

7ケール目以降(28日/ケール)																					
投与種	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day2	...	day8	day9	...	day15	day16	...	day22	...	day28			
①	○	デキサメタゾン	20mg/body	内服	内服	デキサメタゾン：ダラツズマブ投与1～3時間前、カルフィルゾミブ投与30分～4時間前、点薬も可。	○	○					○	○	...	○	...	40mg			
①		ジフェントドラミン	25-50mg	内服																	
①		アゼチアモリフェン	650-1000mg	内服																	
②	○	ダラツズマブ(皮下製剤)	15mL/body	皮下注射	3～5分	投与後30分は経過観察	○														
③		5%ブドウ糖液	250mL	メイン	30分	ハイドレーション用	○	○					○	○							
④	○	カルフィルゾミブ 注射用水 ※※ 5%ブドウ糖液	56mg/m2 ※※ ※※100mL	メイン	30分	※※total100mL ※※10mg/バイアルは注射用水5mLで、40mg/バイアルは注射用水20mLで溶解すること。ブドウ糖液より必要量抜き、total100mLにする	○	○					○	○				○	○		
⑤		5%ブドウ糖液	50mL	メイン	全期	カルフィルゾミブ投与後フラッシュ用	○	○					○	○				○	○		

終了

減量基準			
抗がん剤	ダラツズマブ	カルフィルゾミブ	デキサメタゾン(75歳以下) / デキサメタゾン(76歳以上)
通常量	15mL/body	56mg/m2	40mg / 20mg
1段階減量	15mL/body	45mg/m2	20mg / 12mg
2段階減量	15mL/body	36mg/m2	12mg / 8mg
3段階減量	15mL/body	27mg/m2	8mg / 中止

75歳以上の患者のデキサメタゾン投与方法は以下の通り
 1ケール目: day1,2,8,15,22に20mg, day8に12mg
 2ケール目: day1,8,15,22に20mg
 3～8ケール目: day1,15,22に20mg, day8に12mg, day9に12mg, day16に8mg
 7ケール目以降: day1,22に20mg, day8に12mg, day9に16に8mg

減量・中止基準

ダラツズマブ

ダラツズマブ投与延期	G4の血液毒性、G3の出血ありの血小板減少、FN、G3以上の非血液毒性(ただし①治療に対し7日以内に反応したG3の悪心嘔吐下痢、もともとあったまたはダラツズマブ投与後6日以内のG3の疲労・無力症をのぞく)
ダラツズマブ投与再開	上記有害作用がG2以下またはベースライン時にまで回復した場合再開可能。
インヒュージョンリアクション	infusion reactin: 投与中に認められた場合は投与中断または中止。G3を3回発現またはG4を発現した場合は中止。
Dkd(全体として。ただしダラツズマブに減量基準なし)	
急性腎障害	投与開始後Ccr=15mL/min未満となった場合休業。回復した場合は減量せず投与再開可能。ただし透析を要する場合は20mg/m2を超えない量で再開し、透析後に投与を行うこと。
血液毒性	投与継続: 血小板減少G3以下、リンパ球減少G3以下、貧血G3以下、好中球減少G2以下 休業: 上記以上の血液毒性の場合。 再開: 症状が回復したら減量し再開。
非血液毒性	G2以下: 投与継続 G3以上: 休業(ただし悪心嘔吐下痢疲労を除く)。回復したら医師の判断で適宜減量し投与再開、回復なければ中止。